

議会だより

 吉野川市

NO.12



目次

代表・一般質問……………P 2

議案の審議から……………P10

クイズ……………P14

市民のページ……………P15

市民の皆さんへの募集……P16

「川島渡し一日復活」 梶山吉五郎（鴨島町）

■発行／吉野川市議会
■住所／〒776-8611
■TEL.(0883) 22-2241

■編集／議会広報特別委員会
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
■FAX.(0883) 22-2242

2007.11.25

代表・一般

ここが聞きたい

質問

9月議会定例会では11名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 田村修 司 議員

● 高齢者福祉について

○ 吉野川市における教育について

② 枝澤幹太 議員

● 吉野川市における子育て支援策の推移及び経過について

○ 子育て支援策の今後の対応策について

○ 市内の保育所、幼・小・中学校の教育方針について

○ 教育委員会と各学校の連携について

○ 各学校のバス借上げについて

⑤ 犬伏正春 議員

● 期日前投票について

○ 吉野川市ホームページについて

⑥ 中山郁子 議員

○ 特別支援教育について

● AEDの設置について

○ 小児健診について

○ 防災について

○ 安全安心について

⑧ 高木純 議員

● 後期高齢者医療制度の周知について

○ 後期高齢者医療制度の保険料の徴収について

○ 後期高齢者医療制度における資格証明書の発行について

○ 特色あるまちづくりについて

⑨ 工藤俊夫 議員

● 都市計画道路、中央橋通線について

○ 後期高齢者医療制度における資格証明書の発行について

一般質問

③ 榎納謙司 議員

● 職員の教育及び研修について

○ 福祉について

④ 栗原五男 議員

○ 鴨島神山線について

● 滞留人口、交流人口を増やす対策について

⑩ 福岡正 議員

● 教育関係3施設について

○ 多重債務者救済対策について

⑪ 岡田光男 議員

● 平和行政について

○ 多重債務者救済対策について

代表質問



田村修司 議員
(清友会)

介護予防ケアプランの4千円の人件費は

一プラン4,784円

(質問)

(答弁)

◎質問 元気な高齢者づくりが必要であると考えますが、吉野川市は、地域支援事業の取り組みについて、自己評価として結構できていると考えているか、それともまだ準備段階で十分とは言えないと考えているのか。

○健康福祉部長 他市に先駆けて介護予防手帳を作成し、介護予防体操パンフレットを作成するとともに、資格認定制の介護予防サポーター養成講座や認知症サポーター人材育成講座を開設し、介護予防にかかわる人材養成や地域活動組織の育成支援に取り組んでいる。

また、民間施設の資源を活用し、プールでの水中運動やマシンを用いた運動器の機能向上事業などの一般高齢者施策を行っている。自己評価としては、一歩一歩あゆみ続けているところと考えている。今後も地域の人材育成や民間施設も含めた資源の発掘及び活用方法を追求するとともに、ネットワークづくり、介護予防に重点を置いた地域支援事業の確立を目指している。

◎再問 介護予防支援費というプラン料、通常4千円を介護保険から給付を受けて人件費に充て



枝澤幹太議員
(薫風会)

市独自の子育て支援策の経過、対応策は

(質問)

財源の確保と効率的な配分を考慮し検討

(答弁)

◎質問 次世代育成支援対策推進法の制定に伴い、本市独自の主な子育て支援事業の推移及び経過について伺う。

○健康福祉部長 保育料を国の基準の75%にしている。保育サービスでは11か所ある保育所のうち、6か所で朝7時30分から、午後7時までの延長保育、4か所で土曜保育を実施。出産祝い金は第一子から子供の人数に応じて、1万円から10万円を支給している。乳幼児等医療助成制度については、平成17年5月、市独自で通院時の助成対象を3歳未満児から6歳未満児へと拡大。18年10月には県に合わせ助成対象を入院・通院とも7歳未

満児へと改善、所得制限も引き続き撤廃している。

児童の放課後対策として児童館及び放課後児童クラブを活用し、子供たちの安全と健全育成に今後とも努めてまいりたいと考えている。

◎再問 最近では中学生のほとんどが高校、各種学校に進学し、まるで義務教育課程であるかの現状であり、それに伴い保護者の負担軽減のために高校卒業まで医療費の無料化はできないか。また、少なくとも中学校卒業まで無料化にできないか伺う。

○健康福祉部長 高校卒業までとして試算すると



高校卒業まで医療費無料化の京都府南丹市を視察

医療費は約1億8千万円の増額、中学校卒業までとすると約1億4千万円の増額となる。子育て支援の観点から、さらなる拡充が望ましいが厳しい財政状況の中では困難な課題だと考える。

○市長 少子化の進展と厳しい財政状況ではあるが、本市独自の乳幼児医療の拡大、助成の充実、妊産婦健診費用の公費負担の拡大等進めてきた。今後とも子育て支援策を実施するには財源の確保と効率的な配分、負担のあり方等、諸問題をクリアしつつ子育て支援市

民会議等の意見を尊重し、今後の子育て支援のあり方を検討していきたいと考えている。

【その他の質問】

◎質問 幼稚園、小学校、中学校の教育方針について伺う。

○答弁 努力事項として、1、信頼される学校づくり、2、確かな学力、豊かな心身の育成、3、人間形成の基礎を培う幼児教育、4、人権尊重、社会貢献、5、家庭、地域の教育力、6、教職員の資質の向上等に取り組んでいる状態である。

るわけだが、介護予防プランを一プラン作成するのに人件費は幾らかかっているのか。

○健康福祉部長 介護予防プランの一プラン作成にかかる人件費は、4,784円になっている。

◎再々問 現在の地域包括支援センターの実態は、大部分の業務が介護予防プランの作成に追われ本来的な業務ができていないと言われている。隣の石井町は直営から民営化に踏み切ったそうだが、吉野川市の地域包括支援センターは平成20年度以降も直営を続けるのか。また、今年度新たに作り組んでいること、来年度以降にも取り組もうとしていることがあれば伺いたい。

○健康福祉部長 地域包括支援センターの補完的部分や地域の高齢者の一般的な相談支援等は既存の在宅介護支援センタ



市内の養護老人ホーム

ーに委託しているが、現在の在宅支援センターの状況、国の動向、他市の状況等を見ながら、委託を含めて検討していく必要がある。今年度は運動器の機能向上事業を本格的な事業として取り組んでおり、来年度以降での事業には、介護予防サポーター養成講座の中級編、上級編を予定している。

【その他の質問】

◎質問 小学校の体育について三段階評価で一番低い評価を受けている者がいないのはいかがなものか。

○答弁 観点別項目に分けて評価している。

一般質問



榎 納 謙 司 議員

職員の教育研修はできているのか

(質問)

職員の意識改革と能力資質向上に全力

(答弁)

◎質問 職員に求められる公僕精神を高めるための、教育及び研修について伺う。

◎総務部長 全体の奉仕者としてふさわしい識見と能力を備えた職員を養成するため、階層別研修・実務研修、法律講座などの特別研修、市町村アカデミー研修・人権研修などを行い、また接遇研修・メンタルヘルス研修等、資質の向上及び意識改革の高揚を図ることも予定している。

◎再問 あいさつできない・対応できない・話が通じない職員が多く、怒

りを感じるという市民の声を聞くが、市長は現状をどのように感じているのか伺いたい。

◎市長 公平・公正で親切丁寧に対応することが何より肝要であると感じているので、根気強く地道に窓口サービスの改善向上を図り、市民が気軽に訪れやすい市役所になるよう努力していきたい。

◎再々問 職員の能力が十分発揮できる環境は、市長の姿勢と努力によると思うが考えを伺いたい。



職員研修風景 H19.4.17

◎市長 職員の意識改革と、能力と資質向上に全力で尽くしていきたい。

「その他の質問」

◎質問 幼・小・中の教職員が連携し合同研修をしてはどうか。

◎答弁 合同研修を通じて相互理解を深め、継続

的、有効的な指導を実施したい。

◎質問 生活保護者の自立指導は。

◎答弁 稼働年齢層の人については、就労支援プログラムに参加するよう指導。



栗原五男議員

豊かな自然と資源に投資の企業育成は

(質問)

市企業立地促進条例に基づき対応

(答弁)

◎質問 市の発展には、滞留人口、交流人口を増やす事が重要であると考ええる。まず、

①東禅寺の開発許可申請が民間企業から出ていたが、その後の進捗状況は。

②空海の道ウォークや花火大会、阿波おどり等のイベントが開催されたが、他のイベントの取り組みを聞きたい。
③住みたい町のランキングの全国上位に、阿南市がランクされている。これは日亜化学などの企業が頑張り、税収が増えていたためである。市の自然と共生、豊かな自然と資源に積極的に投資してくれる企業を育成して、全国的に売り出すべきだと思いが市の考えを聞き

たい。

◎建設部長

①市の窓口である都市計画住宅課と数回の事前協議があったが、平成19年6月4日以降協議はありません。

◎産業経済部長

②市観光協会が中心となり各種イベントの内容充実を図り、入り込み客による地域の活性化に取り組みたい。

③企業の育成については、現在、市企業立地促進条例に基づき、広報やホームページでPRし、問い合わせ等について担当課で対応している。美郷や山川の中山間地域では、各種団体や住民によ



犬伏正春 議員

期日前投票所を2か所にしては

(質問)

選挙管理委員会で検討

(答弁)

◎質問 徳島市は、先の参議院通常選挙から1か所から5か所に、美馬市三好市は各支所で、阿波市は2か所で期日前投票を行っている。各選挙管理委員会での説明を聞く、トラブルもなくスムーズに選挙事務、投票がされている。本市においても2か所にしてはどうか伺う。

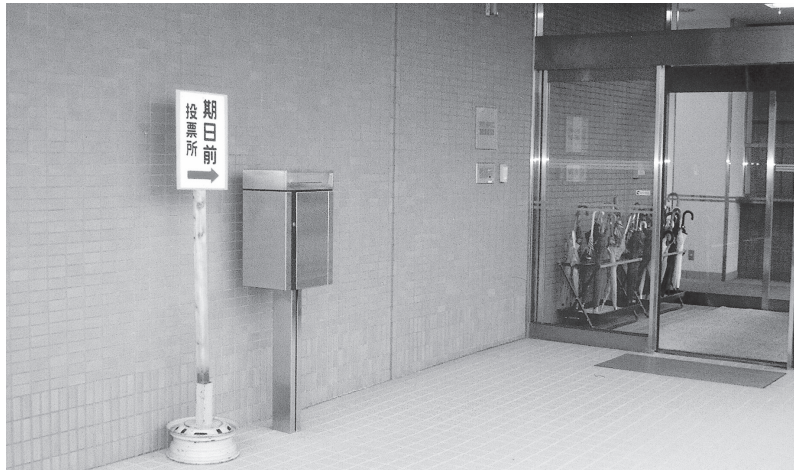
○市民部長 選挙管理委員会においては、合併時から最重要課題として協議を重ねている。期日前投票制度は、公職選挙法の規定する当日投票主義の例外的な制度であり、選挙人が投票日を自由に選択できる趣旨でないため事務管理面、財政面を考慮し、1か所の設置と

している。西部地域においては、市民から合併によって期日前投票所が遠くなり不便になったとの声を聞いている。近隣市の動向等を勘案し本市においても選挙人の利便性を考慮し期日前投票所を数箇所にして、選挙人が投票しやすい環境を整えることも検討していかなければならないと考えている。

【その他の質問】

◎質問 市のホームページに有料バナー広告を募集しては。

○答弁 来年度に向け、検討。



市役所にある期日前投票所

る新しい事業を積極的に展開する動きが出ています。

【その他の質問】

◎質問 県道鴨島神山線を観光資源として整備するよう国や県に要望しては。

○答弁 今後可能かどうか検討する。



県道鴨島神山線梨の峠



中山郁子 議員

全幼・小学校にAEDの設置を

(質問)

十分協議し、検討する

(答弁)

◎質問 AEDの器具は突然停止した心臓に電気ショックを与え、もとの状態に戻す救命器具として、全国で救出例が報告されている。大人用は電流が強過ぎ、体重が25kg未満の児童には使用できないが、新たに小児用電極パッドが使用可能になった。万一に備え、本市の全幼稚園・小学校に設置すべきと考える。市内の設置状況と併せてその考えがあるか伺う。

○教育次長 本年5月から小児用パッドの使用が許可され、現在、上浦小・鴨島小・川島小・山瀬小の4校に設置。幼稚園は設置されていない状況である。子どもたちの尊い命を救うために未設

置校には担当課と協議を重ね検討したいと考えている。

◎再問 小学校14校の内4校しか設置されていない。未設置の10校にAED器が必要とする事故があった場合、隣の学校へ借りに行かなければならない。大事な命を救うために、1日も早い設置が必要と思うが市長の答弁を伺いたい。

○市長 十分に協議し、検討する。



岸田秀樹 議員

公共的施設と民間施設のあり方は

(質問)

民ができないことは、官がする

(答弁)

◎質問 3月定例議会でも、過疎債を使い、美郷・山川地区の山間地域における情報格差解消のために、光ケーブルテレビ施設事業の予算が承認されている。聞くところによれば徳島中央テレビが美郷・山川地区の第一期工事(山川87地域・美郷19地域)として昨年12月から営業開始をし、本年から第二期工事にかかると言われている。過去の第一副市長答弁で、松山総合通信局より情報関連の法律から「既存のケーブルテレビ会社がある所には、行政が介入してはいけない」と強く指導されたと言っているが、なぜ同地域に市が重複施設を作ろうとしているのか。官が民を圧迫しない

と言っておきながら、圧迫する行為は大きな財政の無駄遣いと思うが、考えを伺いたい。

○第一副市長 中央テレビが計画していない地域を官が実施する。中央テレビ・ケーブルネットおえが免許を取って営業している所には、市は一切進出はしない。民間にできることは民間にお願いしたい。

◎再問 民間業者が美郷・山川地区の残り地域を第二期工事として計画しているのだから、逆に市として第三セクター方式で応援をする考えはないのか。

○第一副市長 官と民に



高木純 議員

後期高齢者医療制度は

(質問)

率直に言っていたいへんな制度

(答弁)

◎質問 来年4月から、75歳以上のすべての人が新しい保険(後期高齢者医療制度)に入らなければならない。

広報や市の広報、HPなどで市独自にあらゆる機会を活用してお知らせしたい。

この制度では、現在子どもも扶養家族に入っている人も対象になる。また、月に1万5千円以上の年金をもらっている人は、年金から保険料を天引きされる。さらに、保険料を滞納した人は保険証を取り上げられ、病院にかかれば全額負担となる。多くの病気を抱えている高齢者にとっては、あまりにも厳しい制度であるが、まだよく知られていない。対象が高齢者だけに周知を徹底すべきと考えるがどうか。

○再問 市の国民健康保険では滞納があっても資格証明書の発行には至っていないが、後期高齢者医療制度では滞納があれば保険証を取り上げ、病院窓口で医療費を全額払わなければならない資格証明書を渡すことになっている。竹を割ったような判断をすればたいへんなことになるかと考えるが。

○市民部長 広域連合の

○市長 悪質滞納者には毅然とした対応が必要。しかし自由な診療の機会を奪うことにもなるので慎重の上にも慎重を期す



AEDを使つての人命救助訓練

「その他の質問」

◎質問 障がい児教育の専門の先生の配置は。

○答弁 県費で小学校6校、中学校3校に障がい児対応教員を配置。市費で特別支援員を4校に配置。

◎質問 弱視の発見には3歳児健診の時が一番の対応は。

○答弁 不明瞭なお子さんには、精密検査受診票を交付し、早期発見に努めている。

については、協力の度合いとか、協力の方法等の仕組みは考えられるが、官と民が寄り過ぎると癒着ととられる面もあり、また市内には2業者があるために、どちらを取るかは一概に言えない。

◎再々問 この問題にからんで、管理課から市道線のケーブルテレビ架空線の占有使用料の徴収を開始すると連絡をしているが、議会でも協議していない事を、勝手になされたのか。

○第一副市长 部下は部下なりに判断をしたので私がすべてを知って指示したものではありません。



ケーブルテレビ会社のスタジオ風景

ん。

「その他の質問」

◎質問 防災無線の拡充は。

○答弁 子どもの教育環境が優先。

◎質問 こうつの里の6月議会後の状況は。

○答弁 今後廃止との方針が決まれば議会と相談し、大阪市とも協議していきたい。

◎質問 防災カメラの設置場所の見直しは。

○答弁 当分の間、現状。

るよう広域連合に要望したい。

「その他の質問」

◎質問 地方交付税の減少により財政難であるが、工夫やアイデアで積極的な行政も展開できると思うが考えは。

○答弁 財政難に苦しんでおり、堪え忍ぶ市政がまだ当分続くが、今後とも積極的に知恵を絞り工夫していきたい。

平成20年4月から

新しい高齢者の医療制度（後期高齢者医療制度）が**はじまります!**

新しい制度の運営は都道府県に設置される「後期高齢者医療広域連合」が行います。

これまでは、75歳（一定の障害がある人は65歳）以上の人は国保や健保組合などの医療保険制度に加入しながら、「老人保健制度」で医療を受けていましたが、平成20年4月からは新たに独立した医療保険制度となる「後期高齢者医療制度」で医療を受けることとなります。



工藤 俊夫 議員

中央橋通線の早期着工を

県に強く要望する

(質問)

(答弁)

◎質問 昭和48年12月21日、都市計画道路の告示に基づき、国道192号から県道西麻植・下浦線までの810メートルが追加延長されているが、未着工のままである。

この道路が完成すれば、国道318号は名実ともに国道としての効果を発揮できるはずである。未改良区間についての見解を伺う。

◎建設部長 この道路は都市計画道路として県で決定され、これからも県事業として要望していく。また、この道路を整備することにより、沿線住民、飯尾敷地区はもとより、藤井寺、鴨の湯、飯尾敷地小学校等の利便性は非常に上がると思わ

れる。

◎再問 まず川島土木事務所に説明し、理解を求め、早期着工のため努力すべきと考えるが。

◎建設部長 現在県が中心となり、長年未着手の都市計画道路や中断している都市計画道路の見直しを、平成21年度までに行うため、作業している。中央橋通線も、この対象であることから、地元の要望が見直し時の存続及び早期着手につながると思われたい。今後も要望していきたい。

◎再々問 道州制が国家プロジェクトとして歩き出している今、先に手を挙げておくことで優先順



福岡 正 議員

教育3施設の建設時期は

20・21年度にとりかかりたい

(質問)

(答弁)

◎質問 平成19年度の当初予算で教育関係3施設、川島中学校の体育館、山川中学校校舎、給食センター建設の設計委託料が予算化されているが、現在の進捗状況について伺う。

◎再問 この3施設は、平成20年度、21年度には着手するののか。

◎教育次長 20年度、21年度、そのどちらかのうちに両方取り掛かりたい。

◎教育次長 川島中学校の体育館については、10月末に入札予定である。山川中学校は、8月3日に入札を行った。今後は、基本設計を11月末に終え、実施設計を来年の3月をめどに進めていく事になっている。給食センターについては、候補地である上椋温泉の動向を見極めて、十分に検討した上で取り組みたい。現在の状況では若干の遅れがあると思われたい。

◎再々問 川島中学校体育館の建設予定地と校舎の間に市道があるが、旧川島町の時から安全、安心のために栈橋で広い廊下の計画予定だったが、栈橋を含めた設計にするののか。

◎教育次長 実施設計の中に、そういった問題も含めて盛り込んでいきたい。



現在の川島中学校と川島体育館



国道192号と国道318号の交差予定地

位は上がると思われる。市の発展につながる幹線道路の着工に向けて、県に対して強く要望しては。

○市長 この道の必要性

は十分感じていることから、先に声を挙げ、継続することが一番と考える。西条大橋の延長で、牛島・中央線の進捗を見ながら県に強く要望していきたいと思う。



岡田光男 議員

平和行政・市の基本姿勢を示せ

(質問)

非核・平和宣言の標柱を設置したい

(答弁)

◎質問 地方自治体の役割は、市民一人一人の命や暮らしを守り、幸せな生活を保障することであり、このような社会は平和な社会が維持されてこそ実現できると考える。

ところが、国は憲法を変え再び戦争ができる国にしようとしている。こうした動きに対し、今年の8月のテレビでは、戦争や原爆投下を正面から問うドラマやドキュメンタリー番組が続々と登場し、平和の尊さを訴えていた。

吉野川市議会においても2005年12月議会で非核平和都市宣言に関する決議を全会一致で可決している。

平和行政に対する市の基本姿勢を示す垂れ幕や

標柱の設置をすべきと考えるが。

○総務部長 平和は市民すべての願いであるが、いまだに世界では戦争やテロで尊い命が失われている現実がある。戦争を経験し唯一の被爆国として、核兵器を廃



10月末に設置された垂れ幕

絶し、戦争の悲惨さを訴えていく必要があり、市民の暮らしを守るためにも将来にわたり恒久平和の確立に向け貢献していくことが現代に生きる私たちの努めであると考え

市としては終戦の日に黙祷を各庁舎で実施しているが、二度と戦争を繰り返さないとの立場から、看板等についても今後検討を進めたい。

◎再問 市議会での非核平和都市宣言の決議を強く受け止め、実現する方向で検討するという答弁にならないか再度伺う。

○市長 恒久平和は我々戦争のない平和な社会を生きるための人類共通の願いと考える。

川島町での婦人会主催による中学生の戦争の語り部の会に出席し、戦争の悲惨さを感じた。標柱については質問の意に沿うようにしたい。

【その他の質問】

◎質問 多重債務者への相談窓口の設置は。

○答弁 庁内他部局との連携を図り、相談者の支援が行えるように検討を進めたい。

平成19年9月議会定例会

議案の審議から

日程：平成19年9月3日～9月27日

9月定例会では、条例関係案1件、予算案6件、人事案7件、その他8件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

文教厚生常任委員会

専決処分

▼和解放び損害賠償の額の決定について

◎北川麦委員 川島町内県道交差点で、同日に2度も事故が発生している。同現場は非常に危険な場所である。どのような安全運転指導を行ったのか伺う。

○答弁 事故当日は事故処理をし、翌日課内において事故の状況を説明し、交通ルールを厳守するように指導等を行った。

◎岡田光男委員 午後4時30分に事故があったようだが、この公用車の運転手は、午前中、同場所での事故を知っていたのか。

○答弁 午前中に事故が発生したことは知らなかった。

補正予算

▼平成19年度一般会計（関係分）

◎枝澤幹太委員 生活保護者の対応がメディアでも話題となっているが、本市ではどのような対策をとっているのか。

○答弁 申請をしたいという人の面談を行い、国の定める基準を設けて対応をしている。なお受給者には、毎月収入を報告する義務が課せられている。

◎細井英輔委員 川島公民館の委託料60万円について、いつまで補助金を出すのか。またアメニティセンターの補修工事費400万円の説明を求めらる。

○答弁 公民館条例に公民分館と位置づけされており、公民分館として使用されているのが現状で

ある。

今後については、あり方検討委員会が立ち上がっており、地元の皆さんの理解を得ながら検討していきたい。

アメニティセンターの補修工事は、センターロビー左のカーテンウォールの取り替え工事の工法変更による増額である。

◇異議なしで可と決定

止まれ



川島町内の事故多発箇所

産業建設常任委員会

補正予算

▼平成19年度一般会計
(関係分)◎後藤田哲夫委員 道路
維持管理については補修
箇所が多いということ

補修を必要とする市道

で、今回この倍ぐらいの
予算を組むと聞いていた
が、なぜこの金額に減額
されたのか。また、最近
は事故が多く、市民かけ
がをし、補償するという
のも道路の補修等が遅れ
ているためではないの

か。

○答弁 財政状況の厳し
い中、限られた財源の中
で修繕箇所の必要性の高
い分野から優先順位をつ
けて引き続き努力をし、
できるだけ住民からの要
望にこたえるようにし
ていきたい。また、道路
の要注意箇所の点検も行
い、事故を最小限にし
たい。

廃止・認定

▼市道路線の廃止につ
いて▼市道路線の認定につ
いて

◎後藤田哲夫委員 今回
の廃止認定路線はいつま
でに地図上に整備でき
るのか。

○答弁 認定調書策定に
当たる測量はできている
が、地図の作成時期につ
いては担当者に確認した
い。

◇以上異議なしで可と決
定

総務常任委員会

▼和解及び損害賠償額
の決定について

◎榎納謙司委員 報第22
号と報第23号の事故は、
同じ場所と同じ日、時間
が違っただけか。事故の状
況について伺いたい。
また、職員に対しての
指導は。

○答弁 市所有車が走行
していた現場は交差点
内、黄色点滅で徐行区
域、相手方が走行してい
た線は、赤点滅信号で交
差点手前には一時停止が
表示されており、停止
後、徐行進入が定められ
ている。当然交通ルール
は常々守るように指導し
ている。

◎河野利英委員 損害賠
償額には、保険金は入っ
ているのか。

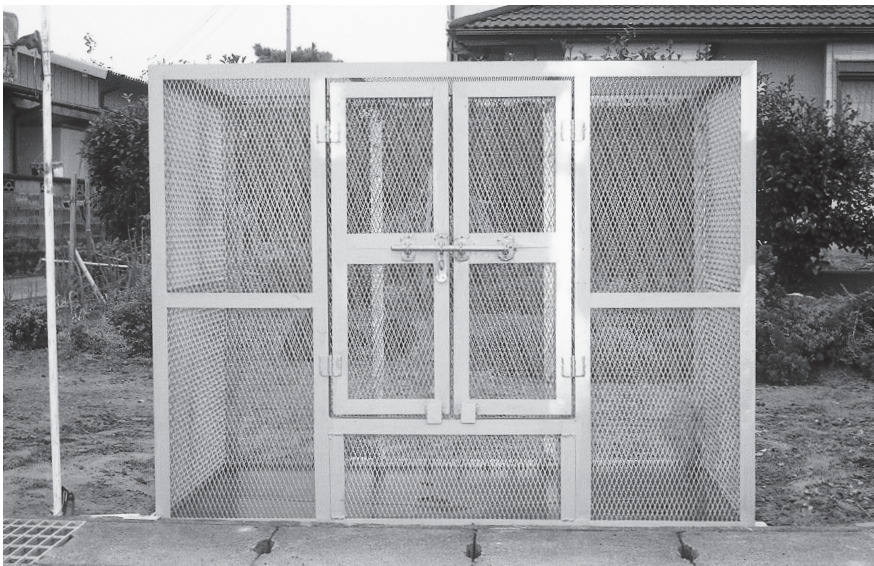
○答弁 市が加入してい
る、財団法人全国自治共
済の自動車損害共済制度
を利用して、保険基準に

らいつ起こっているのか。

○答弁 合併後の交通事
故件数は、公用車で公務、
また私用、通勤中等を含
んで45件の報告が出てい
る。

基づいて、賠償額を決定
している。

◎藤原一正委員 年間に
こういった事故はどれく



ゴミ集積カゴ

補正予算

▼平成19年度一般会計
(関係分)

◎横納謙司委員 各自治会のごみ収集場所に対して補助金はあるのか。また、集会所の修繕は、程度の基準等はあるのか。

○答弁 平成18年度から新設する場合は1集積かごに対して8万円を限度として補助金を出している。通常1自治会1年度1件という形をとっているが、要望が多いので、できる限り自治会の方に配布、整備したいと考えている。

また、自治会育成補助金として、大規模改修に対し50万円を限度とする助成制度を設けている。
◇以上異議なしで可と決定



決算特別委員会

決算認定

▼平成18年度吉野川市
水道事業会計歳入歳
出決算認定について

◎工藤俊夫委員 有収率が75・9%と前年比0・2%の減となっている。有収率を上げるための具体的な対策をとってきたのか。また、不納欠損額が514万7、690円出ているが、滞納者の徴収についてはどのように行っているのか、対処方法と今後の徴収の考え方は。

○答弁 有収率の向上のため、本年度漏水調査を約30キロ余り実施予定でしている地域水道ビジョンを作成した中で、老朽管の更新を計画を持ってやっていきたい。不納欠損であるが、平成18年度に給水停止の予告通知を309件出し、その中で285件は入金や納付誓

約があり、給水停止を執行したのは24件である。平成16年度の時効の欠損額が491万6、520円で、件数は1、679

◎後藤田哲夫委員 古い管についても下水道事業に伴う工事と一緒に悪いところを改修するということがあったが。

件で、今後給水停止の執行を早めていき、未納金額を少なくしていきたい。



水道工事現場

また、生活が困窮しているから水道料金を払えない、払えるのに払わないという話だが、国の方針は生活が困窮していても水道を止めなさいというのが基本である。ある程度の基本方針は決めているのか。

○答弁 下水道事業のときに水道管が邪魔になる部分については、新しく管を入れ替えている。その中で、水の量が少ないという声を聞くと管については増径している。

また、水道料金滞納者には生活の困窮とかを考えると滞納者に対する措置を講じていきたい。

◎中山郁子委員 水は命の次に大事であり、積極的に古い管から変えていくような計画はあるのか。

○答弁 最終的には来年度に作成する地域水道ビジョンの中で計画を立てていきたい。

◇異議なしで可と決定

環境対策特別委員会

協議事項

▼吉野川市のごみ処理の現状について

◎高木純委員 ごみ処理を考える市民会議の中で、ごみの減量化、また、資源化等が提案されているが、それをどう具体化していくのか。

また、出てきた答申を、どのくらいの期間で、そ

の方向性を打ち出しているのか。
また、鴨島分のごみを中央環境施設センターへ持っていくにしても、少しでもごみの量を減らす努力をしてから持つていくような考えはないのか。

○答弁 分別と減量については、市民の協力が必要で、市民への啓発期間

防災特別委員会

審査事項

▼**人家密集地域の消防水利(消火栓・防火水槽・井戸)の見直しについて**

▼**平成19年度徳島県総合防災訓練の結果報告について**

市街地の区域内には、消火栓117、防火水槽9、井戸41、打込み井戸3で、その他にプール、河川を水利指定している。

消火栓・防火水槽については、常時給水能力があり消火活動が可能であるが河川については、渇水等により消防水利として利用できないことがある。井戸や打込み井戸についても、小雨や渇水などで水位が下がり使用できない可能性があるため、鴨島町内の井戸については消防団に水量調査を依頼し実施した。その結果、打込み井戸については3か所が5〜7kgで

放水可能だった。しかし、井戸については41か所の調査をした結果、4か所は水位が低下して使用できない状態である。今後、

渇水等で水利として利用できないことも有り得るので、市街地において特に常時給水可能な消火栓の設置も検討していきたいと考えている。

◎**近久善博委員 1基あたりの消火栓設置の費用**

はいくらになるのか。

○**答弁** 口径65ミリの消火栓の1基あたり設置費用は50万円から80万円ぐらゐの費用が掛かり、配水管の口径によって金額が変わってくる。

◎**榎納謙司委員** 昔からある井戸も、もしもの時に利用できると思う。把握しておけば災害時に役立つと考える。

○**答弁** 他の井戸についても、全部の井戸を消防団に調査を依頼した。使えるものと使えないもの、基準に達しているものと達していないものを区別して消防署と消防団とで共有している。



耐震バルブを設置した鴨島町配水場



を含めて、1〜2年はかかるのではないかと考える。また、ごみの減量化・資源化については当然減らして持っていく。なぜかというところ、ごみの量に応じて翌年のごみのお金を減らしてくれるので、当然この努力はやっていく。

◎**岸田秀樹委員** 今まで開催されてきた市民会議の議事録なり記録を資料として配布してはどうか。

○**答弁** 市民会議の資料については、後日まとめたい。



生ゴミ処理のコンポスト

意見書

▼地方の道路整備の促進と道路財源の確保に関する意見書

■提出議員

山下 智議員

◇異議なしで可と決定

▼議員政治倫理審査特別委員会報告

●藤原一正議員に対する審査請求

【審査の結果】

○審査請求書の条例第6条第1項の規定に対する審査では、被請求議員が市指名業者の職員であった事実が確認され、条例第6条第2項(2)に該当するとし、全会一致で条例違反であると判断するものである。

請願

▼岡山地区急傾斜地崩壊危険区域の対策に関する請願

◇異議なしで採択

▼吉野川市議会議長藤原一正君の不信任決議について

■提出議員

枝澤幹太議員

◇賛成多数で可決

○被請求議員の一親等の者が経営する業者が、平成18年度に市の物品納入業者として登録し、物品の納入を行っていた。このことが、条例第6条第1項「一親等が経営する企業は、一般物品納入契約を辞退するよう努めるもの」とした規定に該当するものと解釈し、全会一致で違反していると判断した。

▼吉野川市議会議長藤原一正君の議員辞職勧告決議について

■提出議員

枝澤幹太議員

◇賛成多数で可決



●乗原五男議員に対する審査請求

【審査の結果】

○被請求議員の一親等の者が経営する業者が、平成18年度に市の物品納入業者として登録し、物品の納入を行っていた。このことが、条例第6条第1項「一親等が経営する企業は、一般物品納入契約を辞退するよう努めるもの」とした規定に該当するものと解釈し、全会一致で違反していると判断した。



クイズ

魚の名前でなんと読むのでしょうか。

- ① 鮎魚女
- ② 障泥烏賊
- ③ 鶏魚
- ④ 目仁奈
- ⑤ 春告魚
- ⑥ 茅渟
- ⑦ 胡盧鯛
- ⑧ 石鰈

○(前回の回答) 106

応募総数は20通でした。

○正解者の中から抽選で10名に記念品を進呈します。

○応募要領／はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

○送り先／〒776-8611

吉野川市鴨島町鴨島115-1

FAX 0883-22-2242

吉野川市議会事務局

○締め切り日／平成20年1月10日

チョットひと言

☆回覧で議会だよりが来ると必ず読んでいます。

(鴨島町 米村さん)

☆今回初めてクイズに挑戦です。次回からも脳のために出していききたいと思います。

(鴨島町 竹内さん)

市民のページ

小さい命の存在

山川町川田 原田 親光

一週間ごとに通うケアの受付に置かれている水槽のメダカは行く度に大きくなっていく。始め「メダカが卵を産んでいるでしょう」と教えてくれた。しかし、水槽のどこか分からなかった。やがて、糸くずに浮かんでいた半透明のからだの先に黒っぽくなった目がキョロッ



としてやっと分かった。わがもの顔をして動き回る生命のたくましさだ。それと一対に虫かごが置かれスズ虫が飼われている。きゃしゃな脚を長々と伸ばし節々を曲げながら歩くさまはおかしさを感じる。黒豆のせんべいを押しつぶしたような胴、羽をすり合わせ

てかん高い澄んだ音をたてて鳴く。ナスを縦切りしてどまん中にすえて餌にしている。ナスの表面の紫と中味の白、そしてスズ虫の黒の配色は妙だ。

朝、出勤すると、ご飯をねだって水面に集まるという。「さあ、おあがり」と声をかけるとからだをくねらせて集まる。仕事の準備に追われながら、可愛いさに心和むという。夜は一塊になって休んでいる姿がほほ笑ましいと当直が伝える。小さな命の存在に気づき満足感で心癒されるという。かつて孫たちが金魚を飼っていたが、からだにコケがつくとワカモトを1個入れていた。栄養剤が沢山含まれて元気がなくなった。

ダイヤモンド婚祝典では市職員にお世話になった。思いやり優しさの行いが町を愛する心になる。

防災対策について

鴨島町牛島 河野 新之助

広報かもじま10月号に市長の所信表明が記載され地域防災力の強化を重点目標として、「自分たちの地域は自分たちの手で守る」を合言葉に自主防災組織の結成・育成に取り組みと表明されてい

ます。防災組織が有効に機能することが被害軽減につながることを強調されました。防災訓練を重ね防災意識の高揚啓発や防災力の向上を図ると言明されています。しかし先に発表された防災対策の一環



市の防災訓練

で作成された防災マップを見て不安と恐怖を感じました。それは吉野川が氾濫した時は鴨島地区のほとんどが2階軒下まで浸水するものでした。特に牛島地域は3階建の建物も高台もなく全戸水没するのです。マップは早目に避難場所が高台へ逃げ込みましょうと説明していますが机上の空論に過ぎません。避難場内水被害でも避難困難な場所が指定されているからです。

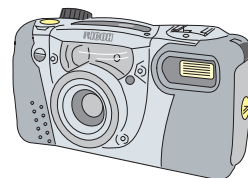
防災組織の結成も防災訓練も大切ですが、それ以前に解決しなければならぬ問題は防災情報の指示伝達の手段と退避場所の見直しと避難道路の確保、避難場所の収容人員等きめ細かな配慮が必要なのです。災害時は夜間の停電でテレビ・電話も使用不能となり、情報皆無の中で不安と恐怖で災害弱者の移動もできぬ有様となる事は現実問題であり、その他地震や土砂災害等の対策も必要で住民は途方にくれています。

募 集 要 項

- テ ー マ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など
- 規 定** モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 原 稿 料** 5,000円
- 締め切り** 平成20年1月10日（消印有効）
発行は2月です。季節感のあるものをお願いします。
- そ の 他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応 募 先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
吉野川市議会広報特別委員会「表紙写真」係
TEL (0883) 22-2241

募 集

表紙の写真



市民の皆さんの声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

： 規 定 ：

● 原稿用紙2枚以内（4000字詰）
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記（匿名の場合も）

： あて先 ：

● 締め切り
平成20年1月10日（消印有効）

〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
吉野川市議会

* 投稿多数等で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正等は、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

TEL 0883-22-2241
FAX 0883-22-2242

あ と が き

猛暑が長く続き、いつ秋らしくなるのかと思えば秋祭りの祭り囃子が聞こえてくると、朝夕の冷え込みが厳しくなり、急に秋らしさを感じると、日々になってきました。吉野川市も合併して3周年を迎え記念事業として、阿波忌部と麻植（麻植郡）の歴史的価値について、林博章氏の講演が

行われました。

その中で市民を一本化するキーワードは「忌部」であり、市民の文化・歴史の誇りを共有する基盤として、地域振興につながる必要があると、話されたのです。私たち大人は我が街の阿波忌部・麻植郡の歴史を学び、自分の街に自信と誇りを持ち子供たちに教え、そして子々孫々まで語り継がなければならぬと思います。過去とのつながり

のない吉野川市と言う名称であるばかりに、市民の一体感が薄れ、まとまりのない街になってきているのではないかと心配するのです。

自主防災と呼びかけながら市民からの安全に対する要望も、予算の関係でできない、思いの違いがあまりにもかけ離れてきていると感じるのは私だけでしょうか。

岸田 秀樹